

豊庄だより



第 538 号 2018 年 11 月 5 日

福岡市早良区南庄 2-26-13
社会福祉法人林生会豊庄保育園
園長 西尾 達

今年の行事は天候の変化にいつもヒヤヒヤさせられています。みんなが楽しみにしている秋の遠足の日も、朝から曇り空。昼頃から雨になりそうという予報を見て出発を早め、弁当を持たずに目的地の姪浜中央公園へ向かいました（ばら・ゆり・ひまわり組）。リュックを持たずに水筒だけだったせいか、足取りも軽やか、あっというまに室見駅に到着。たった一駅ですが、公共の交通機関の福岡市営地



下鉄に乗って姪浜駅を目指しました。地下鉄の中では、地下から地上に出るところで、急に車内が明るくなり、子どもたちの表情も明るく生き生きしてきました。

南へ約 10 分、横断歩道をいくつか渡り、姪浜中央公園に着きました。ここには大きな遊具がたくさんあり、地域の子どもたちでしょうか、たくさん遊びに来ていました。豊庄の子どもたちで遊具を占領してしまわないように配慮しながら楽しみました。また、公園の樹木も色づき始めていて、落ち葉やドングリ拾いに歓声を上げていました。1 時間足らずの滞在時間でしたが、楽しむことができたのではないのでしょうか。いつもなら、帰り道は、睡魔に襲われる子もいて、注意をしながらなのですが、今回は弁当



を食べていないことと、あまり気温も上がらなかつたこともあり、すいすいと帰路に就くことができました。保育園に帰り、みんなでホールで弁当を食べました。そのころから空模様は怪しくなってきた、とうとう雨。帰ってくるのを 1 時間早めたのは正解でした。

「女心と秋の空」とはよく言ったもので、秋の空は移ろいやすいものですね。もっとも、このことわざは、昔（明治時代）は、「男心と秋の空」と言っていたそうですが……。その意味は調べてみてください。